

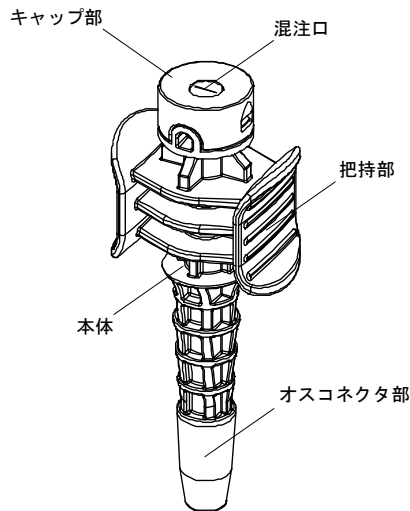
機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
 一般医療機器 カテーテルコネクタ 32339000
ネオシールドウロコネクタ

再使用禁止

【禁忌・禁止】
 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

〈構造図〉



〈原材料〉

構成部品	原材料
本体	ポリプロピレン
混注口	イソブレンゴム、シリコンオイル

〈仕様〉

項目	性能
耐圧性	50kPa

〈原理〉

本品は、ネオシールドレバーロック（以下、レバーロックという。）と組み合わせて使用することで、注射筒と泌尿器科領域で用いられる灌注又は排液用カテーテルを接続可能とし、泌尿器官に薬液等の注入又は採液を行う器具である。

【使用目的又は効果】

本品は、灌注又は排液用カテーテルに接続する器具である。

【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. 本品のオスコネクタ部にカテーテルを確実に接続します。
3. 本品の混注口にレバーロックを接続します。接続できた場合はカチッと音がします。
4. ゆっくりと薬液等の注入又は採液を行います。
5. 注入又は採液後、混注口からレバーロックを外します。
6. カテーテルから本品のオスコネクタ部を取り外します。

〈組み合わせて使用する医療機器〉

本品の混注口には、ネオシールドレバーロック（届出番号 34B1X00001000088）を接続して使用します。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 混注口及びキャップ部天面は、接続前に消毒用アルコール綿等で消毒すること。[細菌混入のおそれがある。]
2. 混注口の消毒にポビドンヨードを使用しないこと。[ポビドンヨードの析出物がスリットに侵入し、液漏れが生じるおそれがある。]
3. 混注口に注射針、びん針又はシリンジ等を接続しないこと。[混注口を破損させるおそれがある。]
4. 本品のオスコネクタ部が開放された状態でレバーロックを接続しないこと。
5. 本品にレバーロックを接続している状態で、横方向に過度な負荷を加えないこと。[接続部が外れ、液漏れが生じるおそれがある。]
6. 注入又は採液を行う場合は、ゆっくりと操作すること。[破損、液漏れ、空気混入が生じるおそれがある。]
7. キャップ部に衝撃を与えないこと。[キャップ部が破損するおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は各接続部等の緩み、液漏れ及び破損等について、定期的に確認すること。
2. 注入及び採液を繰り返しているうちに本品の混注口に緩みや液漏れ等が生じた場合は使用を中止し、廃棄すること。

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合
 空気混入、漏れ、緩み、破損、外れ、亀裂

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3年 [自己認証(当社データ)による]
 包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
 株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先
 TEL 082-243-5806